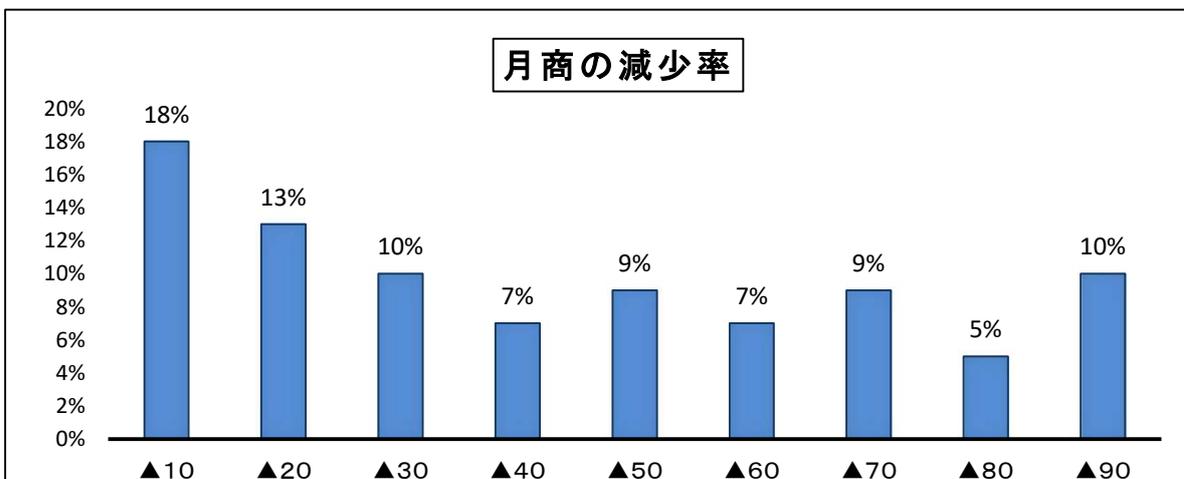


### 調査3 新型コロナウイルスの影響について

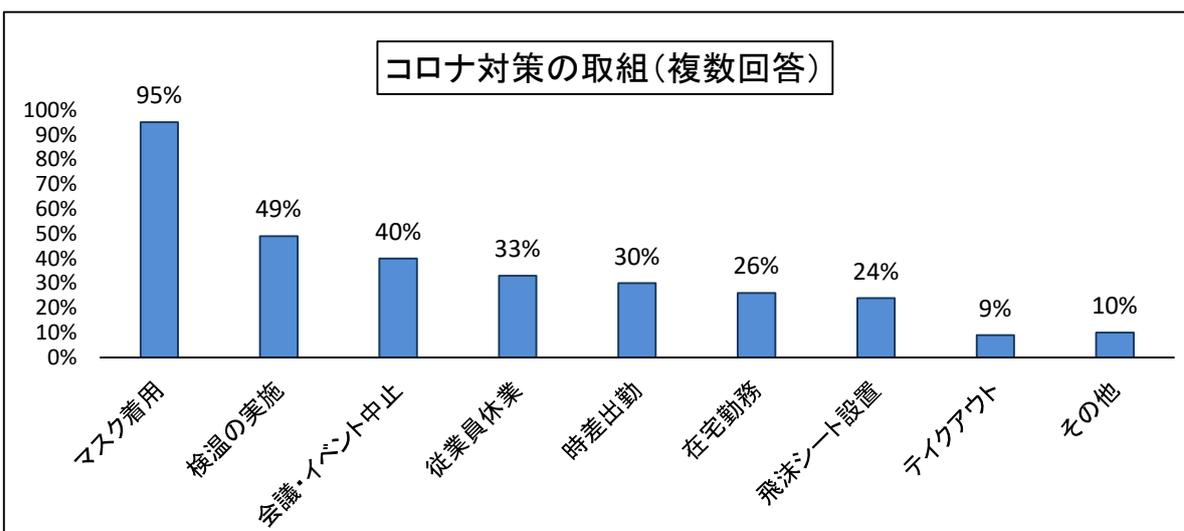
#### ① 昨年と比較して最も減少した月商の減少率について

▲50%以上と回答した事業所は全体の40%で、最も減少が多い業種は飲食業、建設業であった。飲食業では92%の事業所が▲50%以上と回答した。全体の平均は▲42.6%であった。なお、上期において減少がなかった企業は全体で12%であった。



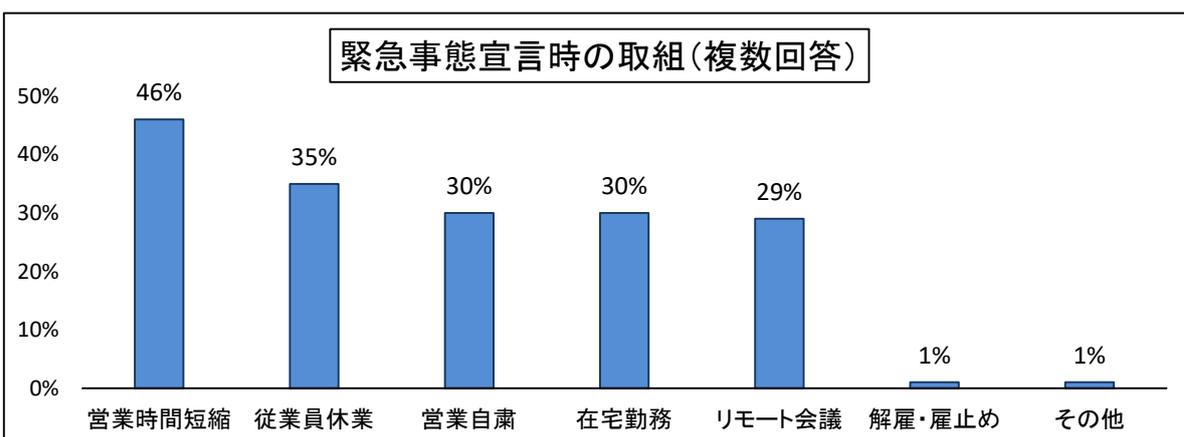
#### ② 自社で行っているコロナ対策について

「マスクの着用」が全体の95%でほぼ徹底されており、「検温の実施」は半数近くの企業が実施している。その他の取組としては、「消毒の励行」「客席の減少」「会議の時間短縮」「車通勤、車業務」などがあつた。



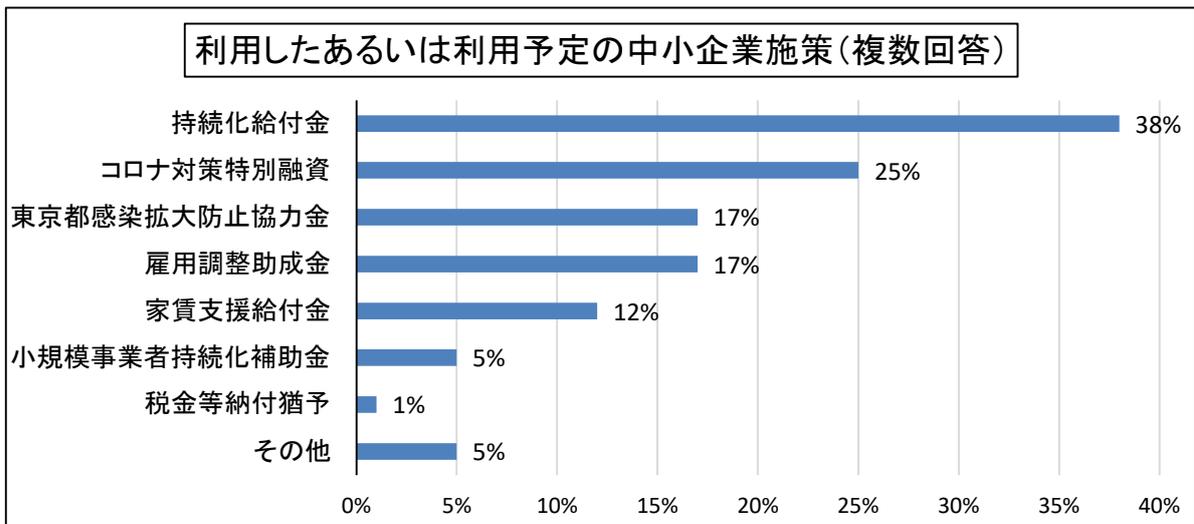
#### ③ 緊急事態宣言で取組んだ対策について

「営業時間の短縮」が46%、次いで「従業員の休業」が35%の企業が取り組んでいた。また、その他の取組としては、「時短勤務」があつた。



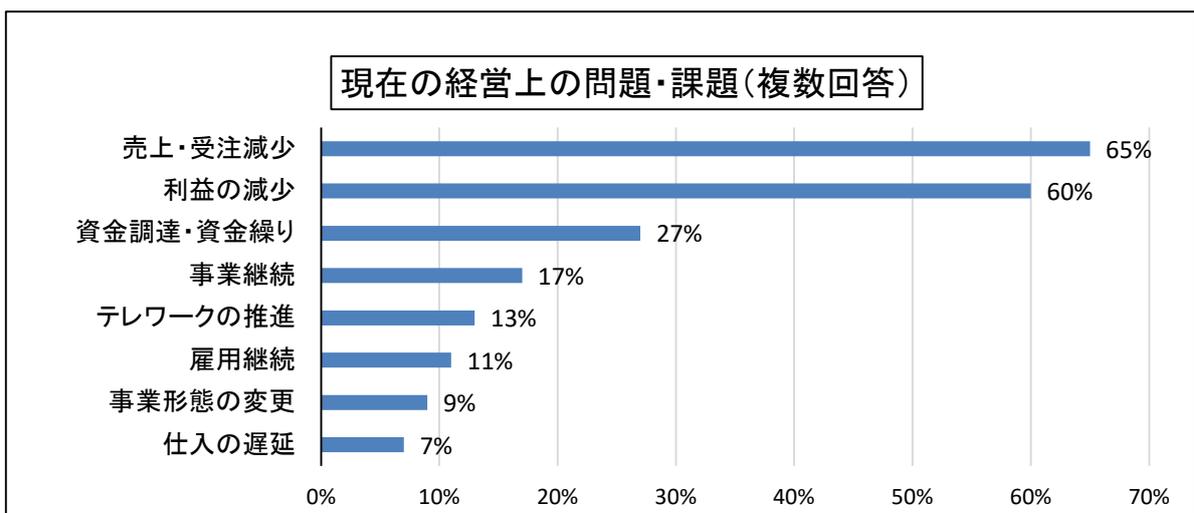
#### ④ 中小企業支援策で利用した、あるいは利用予定の施策について

個々の支援策の対象要件は違うが、「持続化補助金」については対象企業は利用していることがわかった。その他として「多摩市の支援策」「キャリアアップ助成金」「事業継続緊急対策助成金」「資本金劣後ローン」「小学校休業等対応助成金」があった。



#### ⑤ 現在の経営上の問題、課題について

「売上・受注減少」「利益の減少」が6割以上の企業が回答。「資金調達・資金繰り」が課題と回答した企業は約3割であった。



#### ⑥ 今年度(今期)の年間売上の予測について

全体の53%が「減少」と回答し、その中で特に飲食業は85%の事業所から「減少」と回答があった。減少率の平均は▲28%で、増加率の平均は+22%であった。

